ごみの分別・減量に取り組みましょう！ シリーズ3

新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい生活様式」を取り入れた生活をするため、テイクアウトやデリバリーを利用して食事するなど、家庭で過ごす時間が増えています。

そのため、市内のご家庭から排出されるごみ（可燃ごみ）の量は増加傾向にあり、また、分別ができていないごみの出し方も増えているようです。

ご家庭でできるごみの分別や減量にご協力をお願いします。　問 生活環境課（霞ヶ浦庁舎）

「新しい生活様式」を取り入れたごみの分別・減量を実践しましょう！

01 生ごみの量を減らしましょう

- 買い物に出かける前に冷蔵庫の中身を確認して、計画的に買い物をしましょう。
  （買いすぎを防げるだけでなく、短時間での買い物は、感染予防対策にもなります）
- 買った食材を残さず使うように、調理方法を工夫しましょう。
- 残った生ごみは、水切りをしましょう。
  （生ごみは、水切りするだけでごみの減量につながり、悪臭などの予防にもつながります）

02 プラスチック容器を分別しましょう

テイクアウトやデリバリーの利用者数が増えており、特にプラスチック製の容器や包装などのごみの量が増えています。「プラマーク」があるものは、リサイクルの対象となる『プラスチック容器』に分別しましょう。
（汚れがある場合は、水で洗ったり、拭き取ったりしてください）

プラスチック容器とは、プラスチックでできた容器・包装のことをいいます。分別の対象となるのは、プラスチック容器や包装に「プラマーク」の表示が付いているものです。

03 その他紙を分別しましょう

資源化できる紙類やカレンダーなどの『その他紙』は、できるだけ分別して、「ごみ」ではなく「資源」として出しましょう。

主な『その他紙』は、封筒やはがき、紙袋、包装紙、コピー用紙、食品･お菓子の箱、ティッシュペーパーの箱、トイレットペーパー・ラップの芯、カレンダー、卵・フルーツなどの紙製の緩衝剤、割り箸の袋、メモ用紙などがあります。

これらは『可燃ごみ』として出さずに、『その他紙』として分別して出しましょう。

その他紙の出し方（例）
紙袋に入れてひもで縛り「その他紙」と書いて出す。

新型コロナウイルスなど感染症対策のためのごみの出し方

新型コロナウイルスなど感染症を広げないためにも、ウイルスなどの付着の恐れがあるごみを出すときは、以下のような点を、日ごろから心掛けましょう。

ごみを出すときは、分別・収集ルールなどを確認し、マスクなどのごみのポイ捨ては絶対にやめましょう。

1. ごみ箱に袋を被せ、いっぱいになる前に交換しましょう。

2. マスクなどのごみに直接触れることがないように縛ります。

3. ごみを出した後は、せっけんを使って、手を洗いましょう。

イノシシ対策で地域を守りましょう

市内で、令和元年度のイノシシ捕獲頭数は約200頭、さらに令和2年4月から12月末までの捕獲頭数は217頭にも上り、年々生息域が拡大するとともに、農作物への被害も広がっています。

近年では、農作物の被害がなかった地域でもイノシシの出没が多数報告され、いつイノシシ被害に遭ってもおかしくない状況です。今後、生息域・被害がさらに拡大すると、市や猟友会の活動だけでは、被害を防止することが困難であるため、市民の皆さんにも対策などにご協力をお願いします。　問 農林水産課（霞ヶ浦庁舎）

イノシシとはどういう生き物？

身体能力

- ○ 1mを超える跳躍力を持っている
- ○ 最高時速50キロで走る
- ○ 鼻の力が強力（70キロを持ち上げる）
- ○ 嗅覚は鋭いが、視力は0.2程度で青以外の色があまり認識できない

特徴

- ▶本来は昼行性だが、人間を避けていることで夜行性となっている
- ▶学習能力が高く、どこに餌やわながあるかなどを覚えている
- ▶とても神経質で臆病なため、物音に驚いて逃げるが、視力が弱く、人や物に突進してくることもある
- ▶森林ややぶの中に生息しているが、近年は餌を求め、市街地にも出没する

イノシシ被害対策＆対応はどうする？

市民の方へ

対応

◎イノシシに出会ってしまったら
⇒イノシシが何もしてこない
…**そのまま通り過ぎるのを待つ**
⇒イノシシが近づいてくる
…**慌てず後ずさりをする**

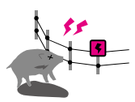
危険 絶対にしないでください！

追いかけたり、石などを投げない！

山や田畑を所有している方へ

対策

◎イノシシは、森林ややぶに沿って移動し、生息地を増やす。やぶや使われていない田畑の草は**放置せず刈り払う**
◎農作物の残渣（残りかす）は、イノシシを呼び寄せる原因となるため、**残渣を放置しない**
◎田畑の周りを**電気柵などの柵で囲い、農作物を守り**徹底して定着を防ぐ



市が実施している対策事業

❶**イノシシ捕獲事業**（協力者：県猟友会石岡支部千代田部会、県猟友会霞ヶ浦支部）
猟友会の協力の下、定期的な捕獲活動を実施しています。
◇有害鳥獣捕獲事業（イノシシ）
令和2年4月～12月末の捕獲頭数実績　千代田地区：107頭　霞ヶ浦地区：42頭
◇狩猟期イノシシ捕獲
令和2年11月15日～12月末の捕獲頭数実績　千代田地区：38頭　霞ヶ浦地区：30頭
❷**電気柵や防護柵などの資材購入経費に対する助成**
❸**わな猟狩猟免許取得手数料などの助成**
※補助に関するその他の詳細は市ホームページをご覧いただくかお問い合わせください。　市ホームページ▲